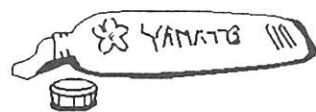
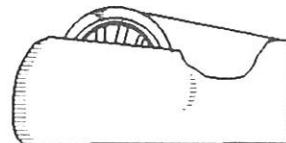


## 第3章

# 作りましょう



# ビニル袋を使った アサガオの色水遊び

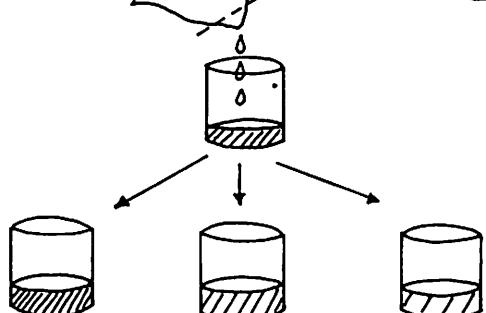
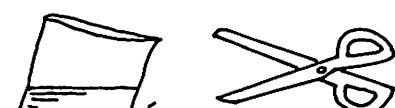
☆色水遊びでは、服などに汁がつくと色が落ちにくいことがあります。

手や衣服を汚さずにできるアサガオの色水遊び

花びらをビニル袋に入れ  
水を少し入れる

指でぐちゅぐちゅと  
つぶす

ビニル袋の下すみを  
ハサミでカットする



水の加え方で、いろいろな濃さの色水が自由自在!!

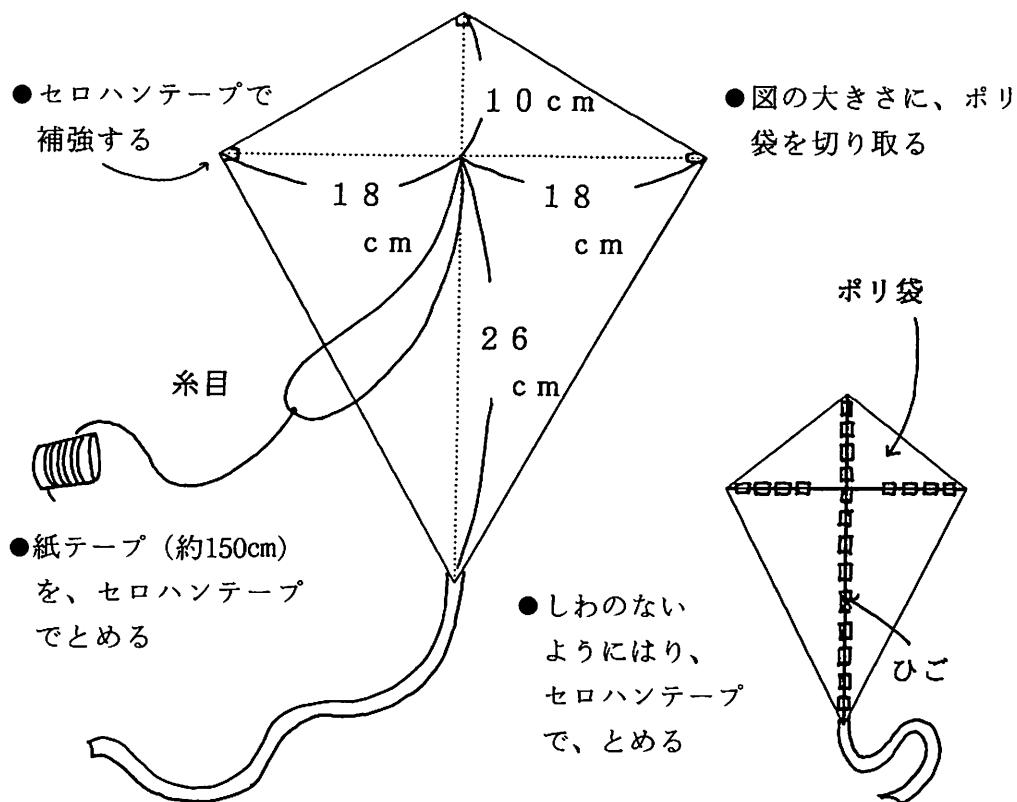
----- 風で動くおもちゃを作ろう -----

## ポリ袋をつかって たこ作り

☆材 料 -----

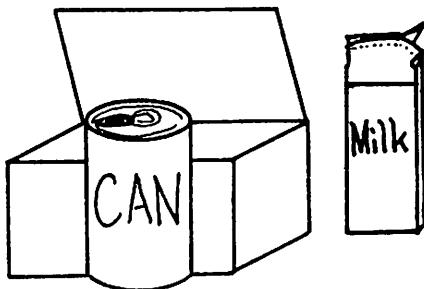
- ・ひご（直径 2 mm、長さ 36cm）2 本
- ・ポリぶくろ、セロハンテープ、紙テープ、糸

<表>



# 廃材を集めましょう

いざ、授業をするときに、子どもだけではなかなか集められないのが廃材です。「もっと前から集めていれば、こんなことにはならなかつたのに…」と、思うこともしばしばです。廃材を集めるときにこんな手立てはいかがでしょう。



## 1. 年間活動計画から、

必要な廃材をリストアップ

「おもちゃを作って遊ぼう」

「○○まつりをしよう」などの製作活動の単元で廃材を使うことが多い。

## 2. 集め方と保管場所を考える

### <集め方>

- ・学年、全校児童に呼びかける。
- ・廃材が出る場所に行って探してくる。
- ・製造元で買う。  
(どうしても集まらない場合)

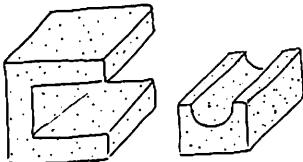


### <保管場所>

- ・あき教室を生活科の教材室にするのがベストだが、それが無理な時は物置に意外とスペースがあるので、きちんと整理して、何が入っているのかを表示して保管するのがよい。けっこう広い場所が必要。
- ・それもだめな時は教室に大きなダンボールを用意して入れておく。  
(これが意外とよいかも…普段から子どもたちが廃材に親しむことになる)

## こんな廃材が便利

### ・発泡スチロールの箱

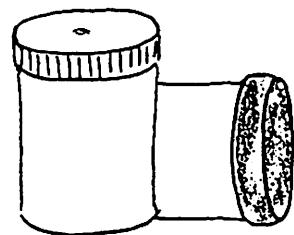


魚屋さんにある魚を入れた箱です。水に浮く船を作ったり、おまつりで金魚すくいのようなことをするときに水をはったり、枝豆などを発芽させるとき土を保温するので早く発芽させたりすることができます。

### ・フィルムケース

フィルムケースのふたは車の車輪になります。

他にも中に粘土を入れて、落下傘のおもりになったり、お城などを作るときの部品になったりします。

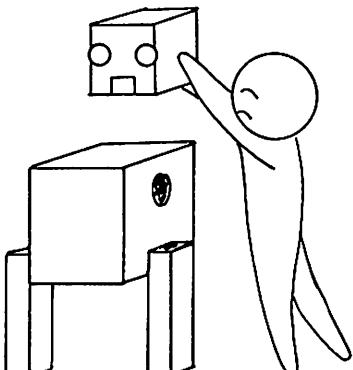


### ・清涼飲料水のタップボトル

1年生や6年生にプレゼントを贈る時に、タップボトルにガラス塗料で絵を描いてペン立てを作ってみては…。中にアサガオなどの花の種や手紙を入れるのもいいですね。

## 廃材が集まらないとき

### ・ダンボールの箱



大型スーパーで大型スーパーマーケットにいって頼むともらえます。形をそろえたいときはあらかじめお願いすればなんとかなります。

### ・フィルムケース

写真現像所、写真館に頼みます。

### ・糸車や布切れ

注文服の洋服店、洋服の仕立て直し店、洋裁専門学校にお願いします。

### ・大きな缶詰の缶やタップボトル、発泡スチロールの箱

食堂などの飲食店、学校の給食室に頼みます。

# きれいに接着できる中ゆび

<糊で紙と紙を>

## 1. 指先がポイント

○薄く、均一に

糊が乾くとピンとなるよ。

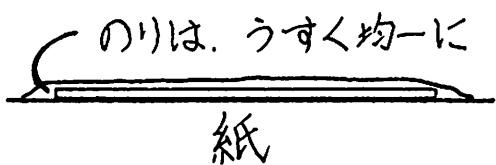
→むら塗りがゴワゴワのモト

○端までしっかりと

出来上がりがきれい。

→はみ出してもいいように

下に紙を敷くのがコツ



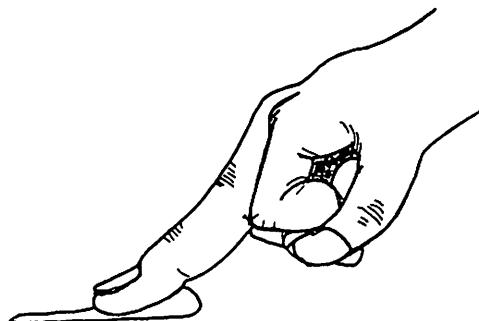
## 2. 便利な中ゆび

○中ゆびで糊を塗る

→きれいな人差しゆびで作業ができる。

はさみ、鉛筆、クレヨン、筆などいろいろなものが使える。

→きれいに仕上げることの大切さを実感できる。



## 3. 汚れに慣れる

○ゆびを汚す楽しさを感じ取らせよう

→どろんこ遊びもできるように。

○手を洗う楽しさも感じ取らせたい

→きれいになり

シャボン玉もできる。

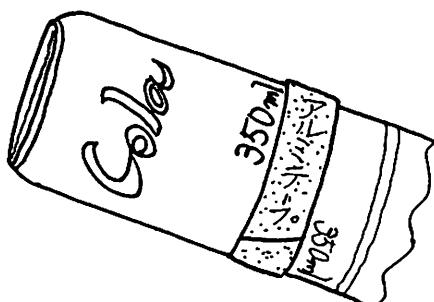
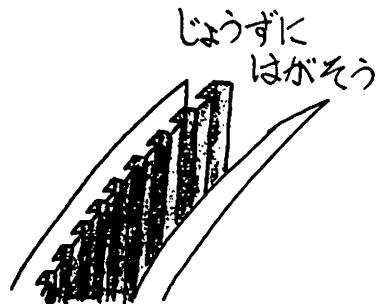


# ピタリとつける

＜ダンボールとダンボールを＞  
＜アルミ缶とアルミ缶を＞

## 1. ダンボールとダンボールをピタリとつける

- ①片方のダンボールの第1層をはがす。
- ②同じダンボールの第2層（波方）を  
ていねいにはがす。  
→接着するときに同じ厚さに近づけ  
ることができる。
- ③第3層（平ら）のダンボールともう  
一方のダンボールに木工用の接着剤  
を塗る。
- ④しっかり圧着する。（1～4時間）



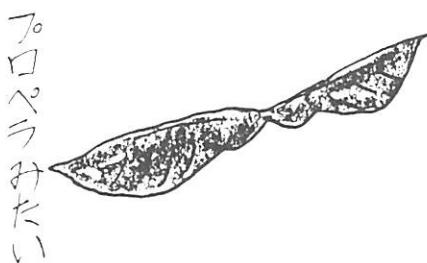
## 2. アルミ缶とアルミ缶の接着

- よくつく、防水アルミテープ  
空気を追い出すようにして、はり  
合わせると下地への付着力が強い。  
耐水性に優れ表面がきれいに仕上  
がる。値段が高いのが難点。

## 3. 接着剤の使い方のポイント

- ①接着する面をきれいにする。（汚れ・水など）
- ②薄く塗る。（手、はけ、へら、ローラーなどで。かぶれる物もある  
ので注意！）
- ③用途に応じて、接着剤を選ぶ。（植物性糊、酢酸ビニル樹脂＜木工  
用など＞、エポキシ樹脂＜金属など万能、かぶれ有り、AB液＞、  
ゴム＜ゴム、皮用＞）

# 遊べる実の話



種子の形のままで遊びに使えるとなると、カエデ類の実は巧みにできている。

もともと、種子を飛ばす目的を持っているのだから、別に感心することもないのかもしれないが、くるくると落ちてくるその動きはおもしろい。

多少の細工を加えると、ドングリなども楽しい素材である。

「やじろべえ」や「こま」を作り始めると、やたらに詳しい子があらわれる。そんな子の自慢気な様子を横目に見ながらも、自分で作りあげたおもちゃは、たとえ不出来でも愛着がわいてくる。



ドングリはブナ科の木の実で、コナラ、ミズナラ、カシ類は細長く、カシワ、クスギは丸い。



転がして遊ぶのなら、クルミやトチノキ、スズカケなどが手頃な実だろうか。

マメ科の実は形がおもしろいし、乾燥して固くなった大型のキササゲやフジの実などは、いろいろな遊びに使えそうである。

シラタマノキの実は珍しいことと、指先でつぶした時の感触がおもしろい。

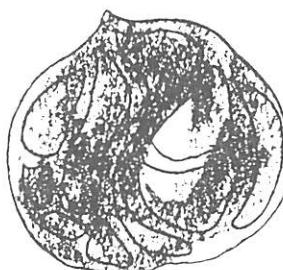
# 食べられる実の話

秋の遠足で、コクワやヤマブドウ、アケビを取って家に持て帰ったのは、もう昔の話。今は子どもたちが木から採ってそのまま食べる機会など少なくなったのではないだろうか。

クワやオンコ、キイチゴなど山や野原を歩きながら、学校の帰りに寄り道をしながら食べた時のあの味は、食卓に出されるデザートとは違って、特別な味だったような気がする。

だれにも知られていないような秘密の木を見つけた時などは、もう小躍りせんばかりに喜んだ。仲良しの子だけで採って食べるのが、何か秘密めいてワクワクしたものである。

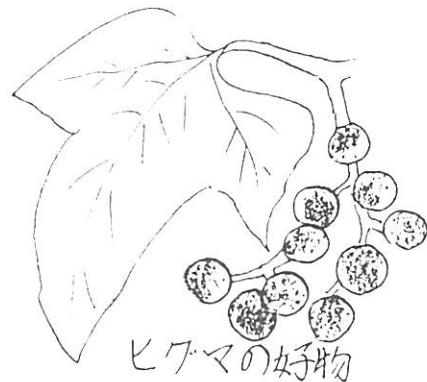
ただし、どんな秘密でも一人で出かけて行って食べるようなバカなことはしなかったが…。



最近は  
冬タイヤ  
にも

クルミなどは、埋めておくのが常道だったが、掘ってみる頃にはなくなっているのが不思議だった。（ただ、単に場所を忘れているだけなのである）しかし、今はまたそんな木が庭木として植えてあったりするから、驚いてしまう。そうなると、「見つけたから食べてみよう」というわけにはいかなくなるので、また、困ったものである。

クロミノウグイスカグラ（ハスカップ）やセイヨウクロマメノキ（ブルーベリー）などは、一躍トップスターになってしまったし、反対にスグリ類などは観賞用？になってしまった。情けない！



# 染められる実の話

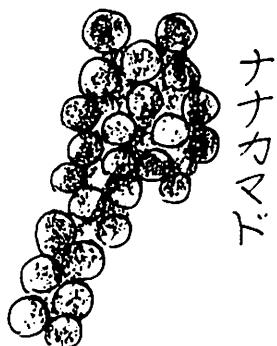
果汁を多く含んだ実が最適である。となると、食用の実と重複することも多いだろう。もったいないことはあまりしたくないのだが……。

紫………黒く、また青みを帯びた黒に熟すものは、紫系の色が出る。  
ヤマブドウ、ハスカップ、ブルーベリーはもちろん、クワやヤマザクラも熟せば使える。



赤………紫系と同様、その種類や熟し具合によって赤い色が出る。  
キイチゴ類やグミ類は実も汁も赤い。

黄………赤く熟すが、果実が堅いものは果汁が黄色いことが多い。  
ハマナスやナナカマドも実の色から期待するほどの赤ではない。



黄色の王様はやはり、クチナシである。天然着色料として、栗きんとんを作るときに昔から使われてきた。年末には、乾燥したものを食品売り場でよく見かける。  
ウグイスガグラは本来赤実だが、黄実、白実もあるので試してみては？

# 飾れる実の話

製作の材料に使おうと考えると、実の形に特徴があったり、乾燥していたりすることが条件として挙げられるだろう。

よく使われるのが、マツボックリ。

しかし、単にマツボックリと言っても  
様々あるのをご存じだろうか？

エゾマツ、トドマツ、クロマツ、アカマツ…。大きい物では10cm径くらいのものもある。また、ドイツトウヒなどはひょろ長く、径は3cm位でも長さは12cm位はあるので、いろいろ集めるとおもしろい。クルミも同様に使えそうである。



その形がおもしろいのはツゲ、シラキ、ツキノハシバミなど。

メギの実は赤く、長めのレモン型なので子どもの目につきやすい。

色彩の美しさならばクサギ、マユミ、ゴンズイなど。果実が裂けて、中の種が見える頃は枝のまま飾っても美しいし、ピンをつけるとアクセサリーのようで女の子は喜ぶだろう。

本当は、木の実を取らずにおくのが一番美しいのかも知れない。

緑の葉に囲まれた真っ赤な実は、それだけでももう装飾品のように見える。

葉が落ちた後のスズカケにまあるい実だけが残っていると、クリスマスツリーを思い出す。綿帽子をかぶった冬のナナカマドも美しいものだ。



# 知っていますか？昔の遊び

TVゲームばかりの現代っ子たちにとって、昔の遊びは素朴であるがゆえに応用範囲も広く新鮮なもの。

子どもたちの遊びの世界はもちろんのこと、地域の老人クラブ、子どもたちのおじいちゃんおばあちゃんへのかかわりも広がる。

## 伝承遊び～屋内編～

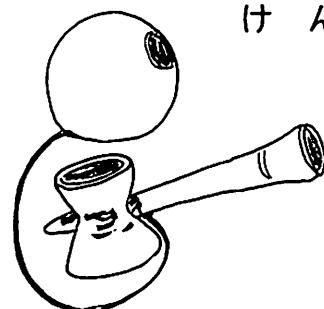
お手玉

投げ玉  
つき玉



「おさらい」「一番はじめは」「おじゃみ桜」などの歌あり

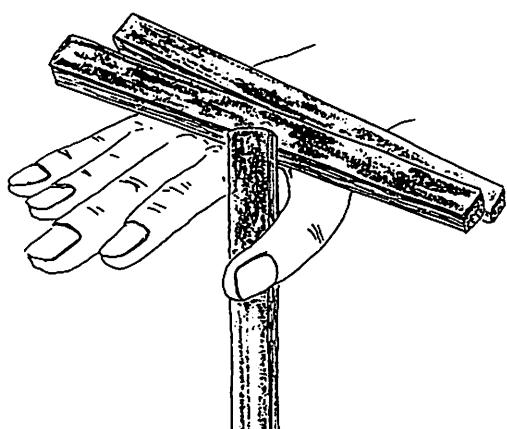
けん玉



「もしもし亀よ」「ふりケン」「かじ屋」「燈台」「とまりケン」「野球」「休み」「世界一周」など、全国競技大会もある。

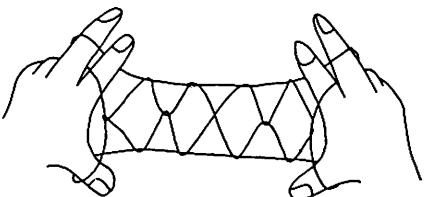
竹割り（がっき・竹返し）

ツバメ返しという方法もある。直径5cm長さ18cmほどの竹筒を18等分にさく。裏の皮を半分とり、角を削ると竹バラが完成。

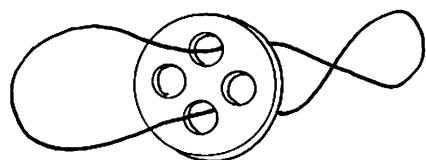


「ほうき」「はさみ」「ワシの足」  
 「ふたまた」「松葉」「はしご」「ゴム」「パタパタはたき」「川」「たすきがけ」「つづみ」「つり橋」「指ぬき」など様々なものがある。

あやとり



ブンブンごま



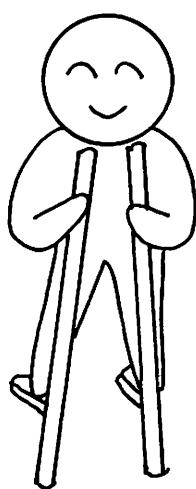
いろいろな物に穴を開け、太い糸か丈夫なひもをつけてまわす。

ボタン、糸巻き、缶のふた、牛乳びんのふた、木や竹片、竹とんぼの羽（2穴の）でもできる。

### その他

「おはじき」「ビー玉」「パッチ（メンコ）」「ヨーヨー」「だるま落とし」「歌付きじゃんけん」「紙鉄砲」

### 伝承遊び～屋外編～

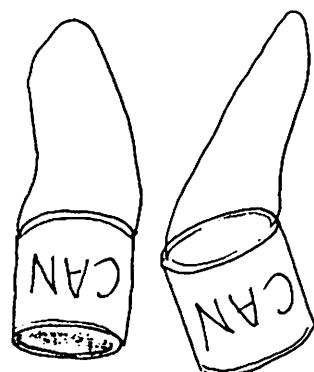


竹馬

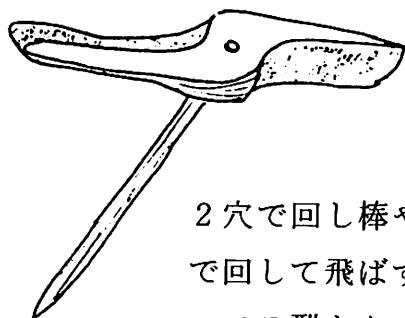
トップ  
かけ足  
速足  
バック  
けんけん

缶ぽっくり

太い  
綿口  
かい  
針  
金

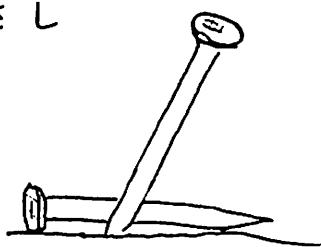


### 竹とんぼ



2穴で回し棒や糸で回して飛ばすプロペラ型もある。

### 釘さし

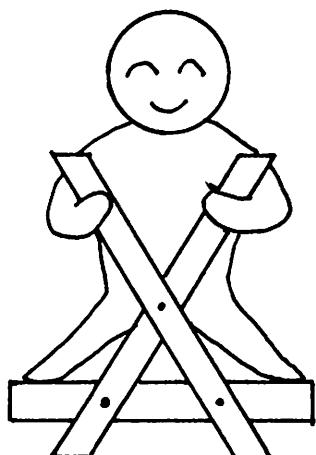


やわらかい土の上で手首の力で釘やぼっこをつきさし、相手の釘を倒す。

### 三角のり

三本の角材を組み、釘で止める。

図のようにのり、片足ずつ前に出して進む。



### 輪まわし



自転車の車輪のスポークをはずしたものを使う。棒で押しながら走る。

### ぶちごま（ばかごま・ぶたごま）



直径5～10cm程の木を削ってこまを作る。棒の先に麻ひもなどを数本つける。ひもで回し、ひもでたたく。

### その他

「パチンコ」「国とり(陣とり)」「凧あげ」「紙飛行機」「水鉄砲」

# 手作りおやつのすすめ

## 畑で生まれた新鮮ポップコーン



ぼくの名前はポップコーン。生まれは、○○小学校の畑だよ。春に種蒔きしてくれたんだ。

夏には、草取りをしたり、水をかけてお世話してくれたのでぐんぐん伸びたよ。

秋には収穫。普通のとうきびより、ちょっと固くて、オレンジ色でつやつやしているよ。教室の窓のところでしばらく日光浴。ていねいにひとつずつ実をほぐしてね。

### さあ、いよいよ変身だ！

蓋付の厚手鍋かフライパンを温めて、サラダ油を薄くひきます。

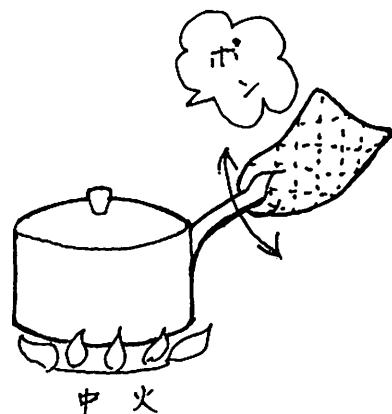
バターを少し入れると、よい香りです。

ぼくたちをひとにぎり、鍋に入れて蓋をします。焦げないように鍋を振りながら、音をよく聞いてね。

ポンポンと音がしてきたよ。音が少なくなったら、焦げないうちに火を止めましょう。

ハイ、できあがり。

塩か砂糖をひとつまみかけてもおいしいよ。



乾燥させて、風通しのよいところに置けば、冬休みの間に何度かおやつを作って楽しめますよ。

# 失敗談

製作のための材料はたっぷりと！

製作活動で、子どものイメージを豊かにするものを作らせたいと思って、設計図を作成させました。全くの念頭活動では無理なので、目の前に材料を用意して実際に積んだり、並べたりさせながらイメージしたものを図に描かせました。必要な材料を選択させたのですが、材料が少なくてイメージがかなり制限されたようでした。

イメージを豊かにするという教師の願いがあるならば、日常から『材料コーナー』を教室に設置して準備しておくことが大切な環境構成のひとつだったようです。

隣近所のご迷惑？

製作活動に遊びはつきものでしょう。作っては遊び、改良をして工夫していくのが子どもの自然な活動だと思います。

ただ、こんなことがありました。

我が学級は、生活科の製作活動の真っ最中。子どもは夢中になって取り組んでいます。

「ワーアイ、できた！」

廊下で作った車を走らせていました。

隣の学級は国語の音読。

生活科の製作活動は、隣のクラスにも気配りを！